

### 教室3 情報発信プロジェクト「絵と文字で伝える地域のストーリーづくり」 第4回レポート

教室3は、地域の文化や面白いネタを集めてかるたを作ります。

第4回目は、みんなで読み札に文章を書き、それをイメージできるイラストを絵札に描きました。いよいよ完成が近い!?

#### ◎クリエイティブな作業の末に

みんながそれぞれ担当することになった先頭の文字。そこからひねり出した文章は、完全オリジナル、個性的で最高に面白い言葉たちが勢ぞろいしています。さらに、絵も自分たちで考える、ものすごくクリエイティブなことを皆さんしています。

そんな大変な作業をしていると、やっぱり疲れて、教室で授業中に寝っ転がったりする子も…。仕方がありませんよね。



読み札には筆ペンで文章を書きます。読みやすく、でも味のある文字を皆さん書いていました。中には、利き手じゃない左手で書く人も。それぞれ工夫しながら、仕上げていきます。書くのが早い人は、追加で文章を書くことを頼まれたりして、助け合いながら言葉のピースを埋めていきます。

「やっと完成した！！」と喜んでいたら、「漢字にはちゃんと振り仮名も書いてくださいね～」と講師から言われ、「忘れちゃったー」と慌てて書く。「そのペン、筆ペンじゃないので書き直しを」と言われ、「え～！」といったやりとりが繰り広げられていました（もちろん楽しそうに）。



### ◎個性豊かなイラスト

絵札に書くイラストを、宿題で下書きを作ってきた人はペンで清書します。皆さん本当に絵が上手！

講師からは「色が乗る所と乗らない所を意識して、ベタを塗ったり、斜線を引いたりしてみてください」とアドバイスをもらいながら、完成をめざして作業が進んでいきます。

皆さん真剣そのものですが、「腕組をする人」の絵を描きたい子どもに、描き方のアドバイスをしたり、読み札の文章をイメージさせるイラストについて、「地元のおじさんの絵にした方が伝わるがやない？」など意見を出し合ったり、頭をフル回転させながら、和やかに書き進められました。



## ◎かるたの色とタイトルを決めよう

作業の終盤に、みんなでかるたの色とタイトルを決めました。かるたの色は、統一感を持たせるように配色のパターンを講師から提案し、その中からみんなを選びました。

タイトルについてもみんなからアイデアが出されました。「高知らしくて、この地域が分かるように」「土佐弁も入れた方がえいがやない？」

そして、いろんな意見の中から、とても面白い意表を突いたタイトルに決まりました！

かるたの色とタイトルは次回、お楽しみに！



この後、第5回目までに、講師のお二人が仕上げをして、第5回目の教室では、いよいよ皆さんの作品がかるたになって出来上がってきます！